

小学生スペインのサッカー大会に出場

入野小学校5年の澳本一龍さん（大方FC所属）が6月27日（木）から7月8日（月）まで、スペインで開催されたサッカー国際大会の「コスタブランカカップ」に出場しました。

きっかけは5月に開催された第24回宿毛カップ少年サッカー大会。小学4年生から高校1年生を対象に、海外国際大会遠征事業を行う株式会社モデレーション（大分県大分市）が澳本さんのプレイを見て選抜しました。

澳本さんは、同大会で4試合にフォワードとして出場し、1得点をあげるなど活躍。「外国の選手は動きも速いし、強い。周りもよく見ていると思った。これからはサッカーを頑張りたい」と話しました。



大方FCで練習中の澳本さん

海辺の本の夏まつり2

毎月第2日曜日に開催されている「海辺の日曜日」の夏休み企画として、8月4日（日）、「海辺の本の夏まつり2」が実施されました。

賀茂神社の参道を会場に、通常の出店に合わせ、不要になった書籍を販売する一箱古本市や親子で楽しめる図工教室などが出店されました。御坊畑地区から親子で訪れたという女性は、「ものづくりができる体験イベントなどがあって親子で楽しめた。夏休みにこのようなイベントがあると嬉しい」と話しました。



多くの人が訪れた会場

当日は、大方あかつき館のレクチャーホールで高知市のキネマMによる「洗骨」の上映会や、町民ギャラリーでアート展示する「二人展」なども行われ、多くの家族連れなどが賑わいました。

上川口で慰霊祭

7月23日（火）、太平洋戦争の空襲で犠牲となった人を供養する慰霊祭が、上川口小学校にある「被爆の地」碑の前で行われました。

同慰霊祭は、「平和な生活ができることに感謝の気持ちを持ち続けてほしい」という祈りを込め、旧上川口小学校に爆弾が投下された7月23日に毎年行われています。碑の横には大方くじら保育所の園児と保護者が作成した千羽鶴が飾られ、遺族や住民など約30人が犠牲者の冥福を祈りました。参列した上川口小6年の菅凜汐さんは、「世界から戦争がなくなつて平和になつてほしい」と話しました。



参列した児童ら

スポーツ合宿で自然体験

スポーツ合宿で町を訪れた2チームが合宿メニューに体験プログラムを取り入れ、町の自然や食を楽しみました。

このプログラムは、スポーツ合宿の誘致に取り組むNPO砂浜美術館が、チーム力の向上や生徒らの健全育成を目的に、施設や宿泊の手に合わせて調整しているものです。

7月29日（月）には、南国市の中学生クラブチーム「Arancio Giocaré」が入野漁港で釣り体験をし、同チームの毛利雅志監督は、「黒潮町のグラウンドやスタジアムの対応は、日本でも指折り。また、自然体験などを通して子どもたちの自己肯定のきっかけにもなる」と話しました。



薫焼き体験を行う生徒ら

8月2日（金）は、福岡県の九州国際大学付属高校が黒潮一番館でカツオの薫焼き体験をしました。3年の波多野司さんは、「精神的に成長できた合宿だった」と振り返りました。